

ジャワ南線複線化計画（第四期）【インドネシア】

施策所管局課 国別開発協力第一課
評価年月日 平成 31 年 4 月

1 案件概要	
(1) 供与国名	インドネシア共和国
(2) 案件名	ジャワ南線複線化計画（第四期）
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日，供与条件などを含む	中部ジャワに位置するジャワ南線のクロヤ-クトアルジョ間の複線化を行うことにより，線路容量の増強及び将来の輸送需要増加への対応を図るもの。 案件の内容 ・ 複線化工事 ・ コンサルティングサービス ア 閣議決定日：平成 26 年 2 月 18 日 イ 供与限度額：168.75 億円 ウ 金利：1.4 %（コンサルティングサービスについては，0.01%） エ 償還（据置）期間：25（7）年 オ 調達条件：一般アンタイド
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 本事業計画当初，ジャワ島における長距離鉄道の年間乗客数（ジャカルタ首都圏の近郊鉄道を除く）は，2006 年から 2010 年までの 5 年間，毎年平均約 9%の堅調な伸びを示しており，特に本計画の対象区間であるクロヤ-クトアルジョの区間は混雑が激しく，線路容量の増大による鉄道輸送量の増加が急務となっていた。 2012 年～2016 年の直近 5 年間において，ジャワ島における年間乗客数は毎年平均約 15.5%の増加率に上っており，引き続き輸送需要増加への対応が求められている。 イ 事業遅延に関する経緯・現状 2014 年 3 月の日本交通技術（JTC）株式会社とインドネシア運輸省鉄道総局（DGR）による「ジャワ南線複線化計画（第三期）」に係る不正事案の発覚により本事業を中断し，日本政府とインドネシア政府間で不正腐敗防止のための協議を実施してきたが，協議の長期化により事業再開の目途が立たず，本事業については，先方政府から事業実施を中止したいとの意向が示された。これを受けて支援中止の手続きについて協議を継続中。
(2) 今後の対応方針	本件に関する社会的ニーズは引き続きあるが，先方政府から事業実施支援中止の意向が示されていることから，支援中止に向けた具体的な手続きについて先方政府と協議を継続する。
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 (https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/data/zyoukyou.html) ・ 国際協力機構の案件検索 (https://www2.jica.go.jp/ja/yen_loan/index.php) ・ 国際協力機構の事業事前評価表 (https://www.jica.go.jp/activities/evaluation/before.html)

	・ そのほか国際協力機構から提出された資料
--	-----------------------